

東海鉄道OB会報

第2号

平成17年7月



紀勢本線 ワイドビュー南紀 三野瀬～船津

目次

東海鉄道OB会発足記念パーティー	2
東海鉄道OB会のシンボルマーク	2
東海鉄道OB会会員の特典	2
「東海鉄道OB会」発足第一回 支部例会で新活動出発進行	
沼津支部長 赤羽隼雄	3
焼津支部 通常総会	
焼津支部事務局長 油井輝男	3
岐阜工事局支部 矢桁英二	4
三河支部定期総会開催	
三河支部長 鶴尾孝一	4
岐阜工事局支部総会	
千種名東支部長 安田和好	4
岐阜工事局支務長 千種名東支部長	4
「明るい活気ある支部に」	
陶都支部総会終わる	
陶都支部事務長 金森繁	5
尾北支部総会 尾北支部長 井関保	5
創立二十周年記念支部総会	
身延支部長 渡邊一	5
藤枝支部創立三十周年記念旅行	
藤枝支部長 藤枝支部会長世話役 杉浦定行	6
名古屋地区協議会の春の旅行	
千種名東支部麻雀大会	
名古屋地区協議会世話役 杉浦定行	6
観梅と寺院巡りと琵琶湖温泉の旅	
四日市支部 岡田幸大	7
年金の情報	7
東海鉄道OB会表彰・慶弔見舞金規程	8
JR東海トピックス	9
グループインフォメーション	
読者のひろば	
駅探訪／「会報への寄稿」要領／編集後記	

東海鉄道OB会発足記念パーティー

東海鉄道OB
会発足を祝い、
四月六日、名古
屋マリオットア
ソシアホテルで
記念パーティーを開催しました。

JR東海から松本社長以下、多くの幹部の皆様のほか法人会員企業の代表者の皆様にご出席いただき、またOB会からは堀内会長、各地方本部長、支部長代表など、全体で約百二十名が参加する盛大なパーティーとなりました。

冒頭、OB会を代表して堀内会長から東海鉄道OB会設立経緯の報告をし、鉄道で頑張つてきましたの方々の心の支えとなるOB会としていきたいと抱負を述べました。



JR東海松本社長からは、OB会成立の労をねぎらっていただき、またグループ会社を含め、OBと現役とが一丸となって頑張つて行こうとの激励のお言葉をいただきました。

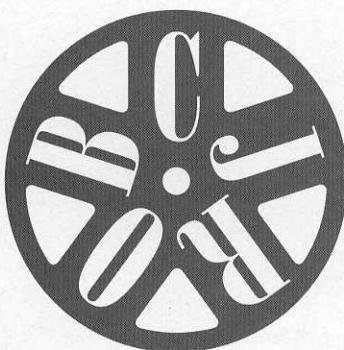
さらに法人会員を代表してジェイアール東海エージェンシーの今村社長からお祝いと励ましのお言葉をいただき、JR東海石塚副社長による乾杯により、今後、JR東海、グループ会社、関連会社、OB会が一体となつて発展することを誓い、引き続いて和気あいあいと懇談を行ないました。

東海鉄道OB会のシンボルマーク

従来の動輪をモチーフにしたマークを現代風にアレンジしました。

C J R O B (JR東海の英語表記 Central Japan Railway CompanyとOBを合わせたもの)の文字を動輪内に五等分に配置し、常に前進するダイナミズムを表現し、

東海鉄道OB会旗、会員証、賀詞等にもこのシンボルマークを取り入れました。



「東海鉄道OB会会員の特典」

1 JR東海ツアーズ各支店	会員及び会員と同行の2親等以内の家族に対し、		
本人5%、家族3%割引	自社国内募集型企画旅行商品（ぶらっとこだまエコノミープランを除く）		
	自社国内宿泊プラン・海外エクスプレスワールド		
本人3%、家族2%割引	他社国内及び海外募集型企画商品		
2 JR東海バス名古屋旅行センター窓口	会員及び準会員		
中部国際空港線 名古屋駅～中部国際空港間往復割引切符	大人1,900円を1,800円に割引		
つばめツアー（名古屋旅行センター主催）	8%割引（特定商品は除く）		
3 ホテルアソシア静岡ターミナル	会員及び会員と同行家族等並びに会員の紹介者		
宿泊・レストラン	10%割引	ブライダル	相談に応じる
4 ホテルアソシア名古屋ターミナル	会員に優待料金（1泊朝食・サービス料金込み。税金は別。）（△予約OK）		
シングルルーム	通常料金12,190円	特別料金9,500円	12/22～1/10(年末・年始) 8,500円
ツインルーム	通常料金21,300円	特別料金17,000円	12/22～1/10(年末・年始) 15,000円
5 あたみ・いでゆ荘	宿泊9,000円		
6 花の木ゴルフクラブ（名古屋テレビ開発株式会社）	会員に優待料金		
[申込] 電話 0572-68-9113（予約専用）	東海鉄道OB会優待ラウンド希望と申出		
[所在地]	〒509-6251 岐阜県瑞浪市日吉町8675（中央道土岐インターから約15分）		

東海鉄道OB会会員証は、会員と準会員に交付され、これを提示することにより次の特典が受けられます。今後利用方が増えればその都度お知らせします。



『東海鉄道OB会』発足第一回 支部例会で新活動出発進行

沼津支部長 赤羽隼雄

東海鉄道OB会発足第一回支部例会は四月十六日十時から沼津市大手町会館で静岡地方本部白井事務局長を迎える。会員七十二名（内遺族会員十二名）参加、静岡新聞記者取材の中で開催した。

まず、物故会員の冥福祈念。続いて支部長が四月一日「東海鉄道OB会」が発足、会本部、特に静岡地本の新鮮な指導を受け、独自性ある新体制で過去に縛られない未来志向の地域に密着した、きめ細かい活動に取り組んでいきたい。当面の取り組みは会員増強だ。過去六年間百二名減に対し入会者は六十七名で三十五名減、一年当たり六名程度減少、特にJR退職者の入会率五十三%で十六名が未加入。加入増強策として地域で魅力あるOB会だと存在が知られるよう活動を展開中。

会員各位の積極的な活動参加をお願いしたいと挨拶した。

続いて来賓白井事務局長から

① 東海鉄道OB会はJR東海工海等（静岡、名古屋、東海東京、東海大阪の四地本）一万四千人の組織、静岡地本は二十六支部五千四百人で発足した。

② 新発足したが、高齢化と新規退職者の入会が低下し、このままでは組織の破壊を招く危機的な状況になる。これを打破し、回復するにはもつと地域に密着した組織として入会者を多く迎えることが急務だ。

③ 静岡地本は①会員の増強②JR、関連会社、地域社会への貢献③健康と生きがいづくりなどだが特に増収協力や駅清掃活動をお願いしたい。④出身企業、職域、地域、趣味などのお付き合いの中で退職者の情報把握し勧誘されたいとの挨拶と再編の経緯と今後の取り組みについての説明を受けた。

このあと、瀧澤氏を議長選出後、議事に入り、平成十六年度の事業報告、会計及び監査報告があつて、平成十七年度の運動方針では

- (1) 年金給付問題の情報収集と「支部だより」活用で情報寄与
- (2) 会員増強のきめ細かい活動
- (3) 本部、地本指導を受け近代的な魅力ある活動推進
- (4) 東海鉄道OB会発足を記念して「沼津支部」ネーム入りSLカレンダーを年末に会員に贈ることを決めた。

次に予算案、大会関係予算案、新役員、東海鉄道OB会会則、同表彰・慶弔見舞金等規程の逐条解説があり、沼津支部会則一部改正案を提案、承認された。なお新聞掲載のタイトルは「新体制できめ細かい活動を」「東海鉄道OB会沼津」とあり、例会紹介写真の説明には「日本鉄道OB会の細分化により発足した東海鉄道OB会沼津支部第一回例会」とあった。また「入

会希望者は支部長へ」と連絡個所も掲載され、東海鉄道OB会や沼津支部の活動を含めて大きくPRが出来た。

焼津支部通常総会

焼津支部事務局長 油井輝男

平成十七年度第二十六回通常総会を、五月二十九日（日）十時から焼津市産業会館ホールにおいて約八十名参加のもとに開催された。

来賓として原田衆議院議員、JR東海静岡支社山田經理課長、鎌田焼津駅長、小尾静岡地方本部長が出席、最初に物故者及びJR西日本の尼崎列車脱線事故において亡くなられた方々に対する黙祷に続き、支部長挨拶、引き続き来賓挨拶があり議題に入った。

平成十七年度の活動計画では従来も新規加入者は多いが、今年度も一〇〇%に近い加入者を入れることを満場一致で承認、総会を終了した。

当焼津支部は新規加入者の勧誘方法として毎月退職者名簿をもらい、支部三役で相談。該当者の系統を考慮し、会員の中で面識のある人から、直接自宅訪問や電話等で勧誘する。好感触を得た後、事務局から感謝の電話をし、改めて地区役員を自宅に伺わせている。その結果、過去二年間で新規加入者が十八名と八二%の加入率となり、静岡地方本部長から賞賛された。

最後に藪崎金司氏から梅原久男氏への支部長交代を議決、昼食会に入り十三時散会した。

三河支部定期総会開催

三河支部長 薩尾孝一

去る四月二十日 東海

鉄道OB会三河
支部定期総会が、

JR幸田駅前

「大津屋」において、八十四名が

出席して盛大に開催されました。



岐阜工事局支部総会

岐阜工事局支部 弓柄英一

平成十七年四月二日（土）岐阜工事局

支部総会が岐阜駅前ぱる・プラザにおいて会員四百二十二名中百五十四名の出席を得て盛大に開催されました。



千種名東支部総会

千種名東支部長 安田和好

六月一日愛知厚生年金会館で

本年度支部総会を開催。JRから東海鉄事管理部総務課長、千種駅長、ツアーブ支店長等の来賓を迎えて、白寿二名、米寿二名、喜寿十一名の会員に賀詞を贈呈



引き続いて懇親会に入り、なごやかな中にも近況を語り合い、お互いの健康を喜び、励まし合つて大いに盛り上がり、午後二時に散会しました。

特に幹事等役員の世代交代は、昨年から始めておりJ.R退職者を中心に幹事を倍増させているので、ここ一々二年で引継ぎ交代が出来ればと願っています。皆様方のご支援をお願いいたします。

るかもしません。

支部の活動状況は、職域団体なので会員が中部地方全域に広がっていて、増収旅行も岐阜・名古屋地区の会員が中心になっています。これからは他支部の方々とも交流し、幅広い活動が望まれます。皆様方のご支援をお願いいたします。

会議は支部長挨拶に続いて、ご来賓の皆様から励ましのお言葉を頂き、寿詞贈呈では二十二名の方々が受領された後、議事に入りました。この中で議案のほか、次の事項が話し合われました。今後とも鉄道OB会の運営は支部中心であると確認した上で、①支部会員相互の親睦を更に深めること。②組織の若返りのため、新規会員の獲得と役員の世代交代を進める。③JR東海及び関連会社への増収協力。④三年間毎月発行してきた「三河支部だより」は、当面会報に合わせて季刊とするここと。以上について会員が出来る限り協力することが承認決定されました。

今後の課題としては、旧岐阜工事局以外の建工部社員、更にJR採用の社員の去就の問題です。岐阜工事局支部の名称もいつかは考え直す時が来るかもしません。

加している支部です。一時は減少傾向となり三百名強になりましたが、JR・清算事業団退職者に積極的勧誘をした結果であります。

しかしながら、年齢構成から見て今後物故者の増加、旧岐阜工事局在籍者が残り少ないと考えると、あまり安閑としては居られません。

今後の課題としては、旧岐阜工事局以外の建工部社員、更にJR採用の社員の去就の問題です。岐阜工事局支部の名称もいつかは考え直す時が来るかもしません。

旅行を二回、ハイキング大会二回、麻雀大会二回、囲碁大会二回、カラオケ会隔月開催等を決定し、東海鉄道OB会報以外にも支部独自の千種名東情報を従来同様に発行する広報活動等も決定した。



「明るい活気ある支部に」

陶都支部総会終わる

陶都支部事務長 金森 繁

四月二十四日、多治見市文化会館で第一回東海鉄道OB会陶都支部総会を開催し、会員四十七名が出席、来賓に東海旅客鉄道（株）から工務部馬場課長代理、竹内多治見保線区進多治見保線区長、長坂多治見電力区長、芳賀ツアーズ多治見支店長、OB会本部杉浦専務理事のご臨席を賜り、盛大な総会となりました。



尾北支部総会

尾北支部長 井関 保

尾北支部では五月十二日第三十五回支部総会、東海鉄道OB会になつて第一回の支部総会を「犬山国際観光センター」で開催し、JR東海から東海鉄道事業本部運輸営業部長崎輸送課長、美濃羽鶴沼駅長を迎えて開催した。

冒頭物故会員四名のご冥福を祈念して黙祷を捧げた後、支部長から

- ①東海鉄道OB会発足について
- ②高齢化に伴う会員の確保、会員各位の勧誘努力
- ③JR東海と関連グループへの強力な増収協力等についてと、会の発展と会員相互の親睦を高めることについて挨拶があり、喜寿十名の寿詞贈呈を行つた。続いてJR東海の長崎輸送課長、美濃羽鶴沼駅長より最近のJRの諸情勢についてお話を承り、地方本部の加藤事務局長から今回の組織改正についてのお話が細部にわたり説明され、議事に入つた。

議事は、平成十六年度の事業経過報告、収支計算報告とその監査を、続いて平成十七年度事業計画と予算案及び規約の一部改正、役員改選について審議され原案どおり承認された。

総会終了後懇親会に移り、一同昔話に花を咲かせ、お互いに健康を祝福しながら、さらに親交を深め、来年の再会を誓つた。

創立二十周年記念支部総会

身延支部長 渡邊 一

身延支部は、今年創立二十周年を迎えました。

発足当時六十名であった会員も百名を超えた現在、組織の更なる発展を期して四月二十四日、下部温泉のホテルにおいて、創立二十周年記念総会を盛大に開催しました。

統いて、原支部長から新しい体制になったのを機に「相互に健康に留意し、老後のこころの支えとなる明るい活気ある支部をつくろう」と決意の

諸議案を審議した後、全員で記念撮影を行つて第一部を終了しました。

続いて第二部の懇親会では、大正琴の演奏と歌謡ショーが演じられ、酒と歌と思い出話で会場の雰囲気は大いに盛り上がり、さながら現職当時のお花見会のよう



藤枝支部創立三十周年記念旅行

藤枝支部長 清水清策

本年藤枝支部は創立三十周年を迎える記念行事として、旅行会を計画し、「JR東海ツアーズ静岡支店」に一切を頼んだ。

コースは、愛・地球博をメインに三河の名勝地の観光とし、四月七・八日に一泊旅行で会員及び家族を対象に募集、出発一ヶ月前には満員四十四名となつた。出発当日浜松付近から若干の雨に会うも万博会場に到着した頃は、すっかり上りホップした。七時藤枝駅前を定時発車したバスは三時

楽しい総会の一日に会員は元気を回復し、十年後の三十周年に向かって更に親睦を深めてゆくことを約束して会場を後にしました。

楽しい総会の一日に会員は元気を回復し、十年後は長蛇の列。六時間と限られた時間の中、行列でたとえ一、二時間待つても目指すパビリオンに入ろうと云う人や、数で勝負する人等、さまざま。兎に角、百二十を超す国と機関が出展する広い会場では所詮一日では無理。JR東海超電導リニア館も結構の行列で中に入ると大スクリーン立体眼鏡で見る五八〇キロメートルの走行は圧巻であった。何時の日かこの車両が営業開始となつた時日本はまた革命の時代を迎えることだろう。

十七時半、宿泊地三谷温泉ホテル明山荘着、今日の疲れを温泉で癒し、宴席では山海の珍味に舌鼓、歌に踊りに隠し芸、拍手に笑いに一同ご満悦、翌日も春爛漫、吉良上野介の眠る「華藏寺」を見学、安城市に入り、江戸時代の武、文人石川丈山の生誕地「丈山苑」名庭園を見て、午後は、桜花爛漫の岡崎城へ。ここは家康が生れた処、宝物館、三層五階の天守閣に昇り往時を忍んで、二日間亘る旅行はこれで終わり。延べ二万余歩の足跡を

名古屋地区協議会の春の旅行

名古屋地区協議会 世話役 杉浦定行

私達、名古屋市内の中村、千種名東、守山、鶴舞、笠寺、名古屋臨港及び名城東北の地域支部（会員数は少ないですが）と職域の名機関区支部とで、名古屋地区協議会を以前から設けてお互いの連絡を密にし、会員の福祉増進を図っていますが、JRの増収協力活動も共同で「初詣旅行」「春の旅行」を主催し、秋には名古屋地方本部主催の地方本部全支部参加の大イベントの旅行に参加していくます。

本年の「春の旅行」は四月十二日琵琶湖北端の「海津大崎」の「古屋地区協議会のOB会員四十名が参加し、いつもお世話をなつているJR

三河の地に残し十七時過ぎ全員無事帰藤、別れを惜しみ家路についた。
最後にJR増収協力百十七万円也



東海バスで出かけました。名古屋を出て途中有名な長浜にある七千坪の敷地を有する真宗大谷派の別院「大通寺」を和尚の丁重な説明で参拝し、湖北の昔の面影を残す長浜市街路を通り抜け、桜満開の長浜公園内の洒落たレストランで昼食中に、心がけが良すぎたのか雨となり、海津大崎の桜はバスで通り抜けて観ようと出かけましたが、生憎現地はまだ桜が蕾で、拍子抜けとなりました。又の機会にと帰路に着き、お互いの健康を誓つて解散しました。

JR増収金額約二十万円。

JR増収金額約二十万円。

三月九日・十日に四日市支部の第十六回JR増収協力旅行『観梅と寺院巡りと琵琶湖温泉の旅』を男子三十二名、女子十四名、合計四十六名の参加を得て実施した。

翌日は世界文化遺産比叡山延暦寺。残雪を踏んで参詣。大書院で学問所長 大僧正小林隆彰師から智日良足、忘己利他、論濕寒貧など叡山人作りの教えについて、含蓄ある法話を拝聴。国宝・根本中道では開創以来千二百年輝き続ける「不滅の法灯」「仏凡一如」の教えを表す内陣須弥壇などを拝観し、高僧修行の跡を回顧する。

当支部では、支部活動の一環として支部主催による麻雀大会を昭和六十年九月から毎年開催し、往年の自称迷人?達が懲りもせずに毎回多数が集まり、最近は春、秋の年二回（一部では毎月開催の要望もあるが）定期的に行い、今年は四月十六日に第二十四回大会を名古屋駅太閤通口近くの雀荘「みどり」で行い、迷人?十七名が参加して、芸術品!の作成に（役万賞欲しさのため）と支部からの賞品を巡り、歳を忘れて頭から湯気!をして奮戦苦闘し、気分転換と脳の老化防止?を図り、戦い終わってビールで乾杯し今秋九月十七日に再会して挑戦することを誓つて終わりました。（欲ボケのため役万賞はでませんでした。）

また当支部では、春、秋に囲碁研究会も催しています。

観梅と寺院巡りと琵琶湖温泉の旅

四日市支部 岡田幸大

ショッピング。車中ビンゴゲームを楽しみ、予定通り無事帰着した。

JR増収協力額・百二十二万円

平成十七年度の年金額は 十六年度と同じ額

平成十六年平均の全国消費者物価指数の前年比変動率が同水準であったため、平成十七年度の年金額は改定されず、平成十六年度と同じ額が支給されることになりました。

これは、公的年金の物価スライドは、物価上昇率から現役世代の人口減少などを考慮した率を差し引いた率で改定される十六年の年金改革法によります。

但し、平成十二年度から十四年度にかけて、前年の物価が下落したにも拘らず年金額を累積△一・七%分が特例法により据え置きましたが、平成十五年度から平成十六年度は、平成十四年度から平成十五年度分の物価下落分累積△一・二%が改定されました。

しかし、据え置きました十二年度から十四年度にかけての△一・七%分は、今後物価や賃金がこの△一・七%分を超えるまでは年金額は据え置きとなります。

なお、十七年度の年金額は、十六年度と変わりませんが、十七年一月の年金から所得税法の改正により、受取額が減つています。



千種名東支部麻雀大会

千種名東支部副支部長

山田和利

JR東海トピックス

人事部

平成17年度入社式

未来の当社を担う期待の新入社員

4月1日、平成17年度入社式を社員研修センターで行い、総合職76名、アソシエイト職66名、プロフェッショナル職（大学卒）56名、（高専卒）48名、（短大卒）41名、（専門学校卒）30名、（高校卒）384名、医療職47名、合計748名の新入社員を迎えました。

式典では、葛西会長から「大きな家族の一員であるという意識で、会社に対する忠誠心、帰属意識、規律を念頭に置き、技量を磨いてほしい」、松本社長から「時間は無限ではなく、いかに有効に、限られた時間を過ごすかということを心掛けてほしい。これからJ.R東海をさらに強くし、そして使命を確実に果たすために、我々と一緒に進んでいただきたい」との挨拶がありました。



新入社員の皆さんの活躍を期待しています。

新入社員の皆さんはここに誓います」との決意表明がありました。

これからJR東海を築いていく

安全対策部

ゴールデンウイーク輸送 安全総点検

「守るべきことをキチッと守り」
安全・安定輸送を完遂

ゴールデンウイークの安全・安定輸送を完遂するため、4月6日から4月22日までゴールデンウイーク輸送安全総点検を実施しました。

今年に入つてから、航空会社や他の鉄道会社においてルール違反による重大事故が多発した状況を鑑み、当社ではゴールデンウイーク輸送の前段において、特に「安全に係るルールの整備や遵守の徹底」に重点を置き、各職場、職種ごとの総点検を実施しました。

会社幹部による総点検では、松本社長が名古屋運輸区を、原副社長が岐阜駅を点検したのをはじめとして、各現業機関においてゴールデンウイーク輸送への取り組み状況の点検と社員の激励を行いました。

さらに、お客様のご利用が多くなる4月28日から5月8日には、「ゴールデンウイーク安全輸送対策本部」を各鉄道事業本部等に設置し、取組体制の強化を図りました。



いただいています。また、JR西日本の脱線事故では事故の恐ろしさと、お客様の信頼を裏切ってはいけないことを再認識しました。社員一人ひとりが「守るべきことをキチッと守り」安全・安定輸送に引き続きしっかりと組んでいきましょう。

◆JR東海トピックス◆

新幹線鉄道事業本部

「最速・最良・省エネルギー化」を目指し 「N700系」量産先行試作車完成

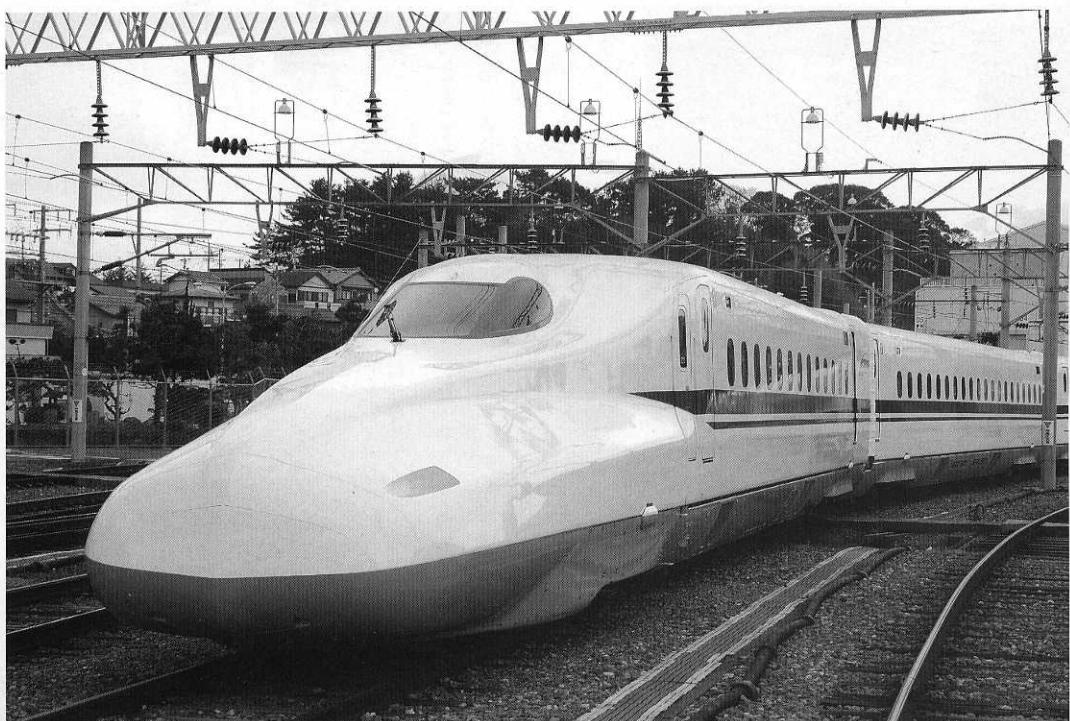
当社は、JR西日本と共に平成14年6月から次世代の東海道・山陽新幹線直通用車両として「N700系」の開発を進めてきましたが、この度当社発注の量産先行試作車（Z0編成）が完成しました。

この車両は、両社で合意をした基本仕様に基づき平成15年に当社が発注したもので、東海道・山陽新幹線直通用車両として最速を目指すとともに、乗心地や車内静粛性など快適性の向上、環境への適合、省エネルギー化を実現したトータルバランスに優れた現段階の技術としては究極の車両となっています。開発コンセプトは、

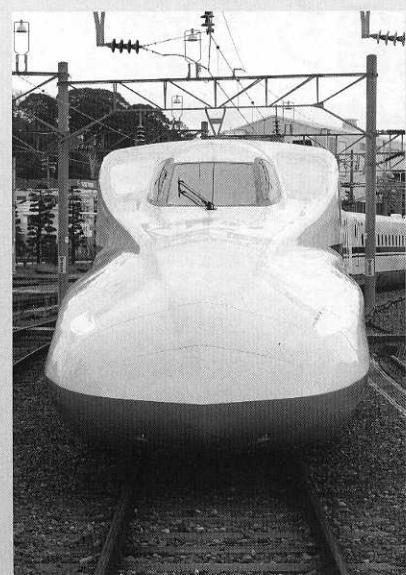
- ① 東海道・山陽新幹線として最速の車両
- ② さらなる車内快適性の向上
- ③ 環境への適合を図るとともにより省エネルギー化を実現

の3点です。これらのコンセプト実現のために車体傾斜システム、制御伝送システム、全周窓口、最適な空力特性を有する先頭形状、高性能セミアクティブ制振制御装置等、小牧研究施設や300X試験車で開発された最新の技術を数多く導入しています。

4月からこの試作車を用いて、約2年半にわたる性能試験、長期耐久試験を東海道・山陽区間で着実に実施し、将来的の営業運転に向け様々な検証を行っていきます。



▲▼次世代車両「N700系」量産先行試作車



▲3月に行われた試運転の様子(浜松駅)

◆JR東海トピックス◆



▲リニューアルした入場口の様子



▲リニューアルした商業施設

事業推進本部
関西支社

新大阪駅リニューアル

3月25日、新大阪駅の駅設備・商業施設のリニューアル工事が完了しました。

今回のリニューアルは平成5年以来の全面改装であり、駅設備に関しては入場口やきつぱ売り場を改良、大型文字による案内サインも掲出し、よりお客様にわかりやすいものとしました。改札内の既存の待合コーナーも改良しつつ、新たにカフェに併設した待合室・モバイルコーナーも新設、席数136席と倍増させています。また、商業施設についてはお客様の流れに沿った店舗再

配置・外観統一を行い、明るくすっきりとしたコンコースに改良しました。店舗は、お急ぎのお客さまでも手軽にお楽しみいただけるカジュアルフードを提供できるよう、ご当地らーめん街・ベーカリー・カフェ・カレー・定食屋・ドリンクバーを設置、そして関西の有名店の和洋菓子が購入できるギフトステーション（特選おみやげ売場）も新設しています。

これまで以上にお客さまに快適にお過ごしいただける空間が完成しました。

ご乗車までの時間がさらに快適に

東海鉄道事業本部
静岡支社 三重支店

磨け！プロの「知識」「技術」「意欲」

優秀技能者認定式

4月6日に東海鉄道事業本部及び三重支店で、また8日には静岡支社で「優秀技能者認定式」を開催しました。

この「優秀技能者制度」は、在来線3所属共通のスローガン「磨け！プロの「知識」「技術」「意欲」」を具現化した施策の一つで、各部門の専門分野のプロとして知識・技術に優れ、同僚からの信頼も厚く、後継者の育成・指導に貢献した社員を「優秀技能者」として認定するものです。

前回は東海鉄道事業本部及び三重支店にて先行実施し、今回から静岡支社が加わり本格的にスタートしました。今回は3所属合計で20名の社員が新たに認定され、阿久津東海鉄道事業本部長、梅本静岡支社長及び佐竹三重支店長から、それぞれ認定証が授与されました。これにより「優秀技能者」は昨年と合わせ41名となりました。

阿久津本部長からは「鉄道業では、技術・技能は日々の積み重ねにより磨かれていく。今回の認定者は、これからも職場の中核としてさらに自分を磨くとともに、若い社員の技術レベルをその域まで引き上げ、技術継承に尽力してほしい」との挨拶がありました。また、梅本支社長からは「日々、職場で技術を磨いて、若手の教育に力を注いだことに、心から敬意を表する。今後も栄誉ある認定者として技術力の向上と技術継承に努めてほしい」との挨拶がありました。

急激な世代交代が進むなか、社員一人ひとりが「優秀技能者」を一つの目標に自己の能力向上に継続して取り組み、技術継承を実現することが期待されています。

優秀技能者
の皆さん



///グループインフォメーション

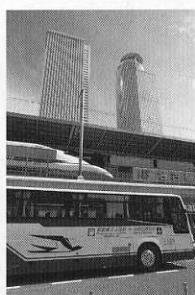


エアポートバス開業
中部国際空港へ直行60分
ジェイアール東海バス(株)

当社は2月17日、JR名古屋駅から中部国際空港「セントレア」への直行バス路線を開業しました。JR名古屋駅のバス停は、JR東海の全面的なご支援、ご協力をいただき新幹線改札口前に新たに開設しました。お客様の移動に便利な好位置と毎時3本のフリークエンシーの良さが自慢です。旅行はもちろん、グルメ、ショッピング、展望風呂など話題満載の「セントレア」へおでかけの際は、ぜひJR東海バスをご利用ください。

また当社では、首都圏（昼行便・夜行便ドリーム号）、関西（昼行便・夜行便）、中国（夜行便セレナーデ号）、四国（夜行便オーラー号）方面へ、充実したハイウェイバスのネットワークを展開しています。リーズナブルな価格で、広い車窓、ゆったりシートの快適な旅をお楽しみいただけます。皆さまのご利用を心よりお待ちしております。

■ホームページ <http://www.jrtbinm.co.jp>



▲中部国際空港への直行バス



▲バスきっぷ売場
(往復乗車券がお得
<有効期間14日間>)

WEDGE (株)ウェッジ

質の高い情報を発信し続ける



「ウェッジ」というより“WEDGE”的方が「ああ、あれ」と思い当たる方が多いのではないかと思います。そうです、東海道新幹線のキヨスクや車内で販売され、グリーン車座席にも備え付けてあるあの雑誌です。白地に赤の目立つデザインは、最近では新幹線だけでなく、大都市圏の鉄道、書店等でもご覧になる機会が増えているのではないでしょうか。

私たちが働く(株)ウェッジは、平成元年、この“WEDGE”創刊と同時にスタートし、昨年、創立15周年を迎えました。この間、東海道新幹線という日本の経済の大動脈を舞台に、ビジネスパーソンやエグゼクティブの方々を中心に、社会に対し斬新な切り口から問題提起をするコーナーや、その時々の旬な方に経営理念や発想を語っていただくなど質の高い情報を掲載する「ビジネス情報誌」として、多くの読者の皆さんに支えていただきここまで成長してきました。

当社は“WEDGE”的他に、旅、文化、歴史等をテーマにしたグリーン車搭載誌「ひととき」の編集も担っています。さらに、“ウェッジ選書”をはじめ各種単行本の発行など、書籍出版の分野においても実績を積み重ねてきています。

このような出版社としての仕事は、読者が求めるタイムリーな情報をスマートな切り口で雑誌に掲載するため、情報収集にとびまわる編集チームと出版物を販売するために様々な販売ルートを活用し、より多くの読者の手に届けようと書店などをかけまわる営業チーム、そしてこれらを裏方で支える総務チームからなっています。昨年からは、一層の飛躍発展に向けて、編集長に若手を起用し16年目のスタートを切ったところです。総勢24名からなる小字帯ですが、日本中に質の高い情報を発信し続けるというプライドに燃えて毎日の業務を精力的にこなしています。

JR東海及びグループ各社の皆さんにはたくさんの定期購読をいただき、心より御礼申し上げます。ご意見・ご感想を折りに触れて頂戴し、誌面の一層の充実を図っていきたいと考えています。そして今後ともすばらしい記事や書籍を世に送れる出版会社を目指して、社員一丸となって努力していきます。

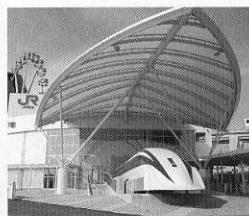


「愛・地球博」を機にさらなる宣伝展開を目指す
**(株)ジェイアール東海
エージェンシー**

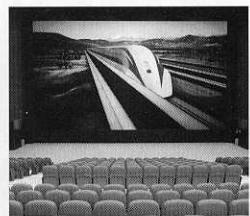
現在開催中の「愛・地球博」におけるJR東海のパビリオン「JR東海 超電導リニア館」出展にあたっては、当社でも様々な準備に取り組んできました。開幕してからは、大迫力の800インチ・ハイビジョン映像でリニアの世界を体感する3Dシアターを擁する当館は、連日大盛況の人気パビリオンとなり、期間中会場に常駐している当社の現地運営スタッフにとっても大きな励みになっています。

また、当社ではこれまでにも各地でリニア駅イベントなどを実施し、さらに「万博きっぷ」などの商品宣伝をはじめ、一人でも多くのお客さまに新幹線で万博にお越しいただくように数々の宣伝展開を幅広く手がけてきました。今回新たに作成したリニア館オフィシャルグッズも大変な人気で、多くのお客さまにご好評いただいています。

交通広告の分野では期間中、名古屋駅を中心に掲出する「愛知万博ウェルカムセット」広告や「エキスポシャトル」広告などの新商品も販売し、今後一般企業の広告を順次掲出することが決定しています。「愛・地球博」を機に今後もさらなる収入拡大を目指して、営業活動にも一層力を注いでいきます。



▲JR東海 超電導リニア館



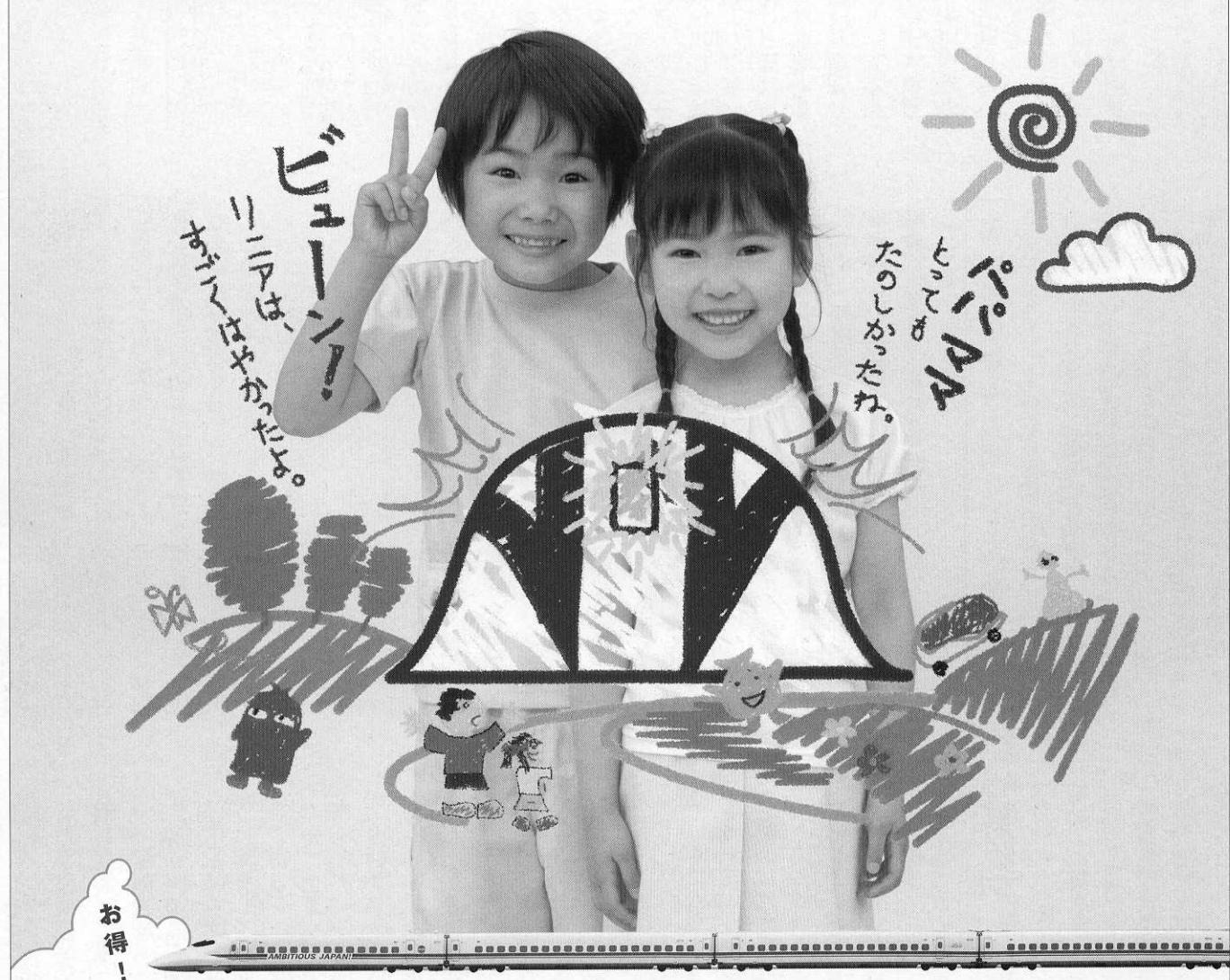
▲3Dシアター



▲東京駅八重洲中央ロイイベント

新幹線で 万博へ行こう。

EXPO 2005 AICHI
9月25日まで開催!



「新幹線愛知万博往復きっぷ」好評発売中

東京都区内発 往復きっぷ 19,800円 + 万博入場引換券 4,600円 = 24,400円

横浜市内発 往復きっぷ 18,900円 + 万博入場引換券 4,600円 = 23,500円

大阪市内発 往復きっぷ 12,000円 + 万博入場引換券 4,600円 = 16,600円

○愛知万博の入場引換券とセットで発売します。既に入場券をお持ちの方もご提示いただければ、入場券一枚につき一回限り発売します。

○その他、出発地にあわせた各種きっぷを設定しています。お求めはお近くのJR駅および主な旅行会社で!



会員募集中

会費無料

50歳からの旅クラブ「50+」(フィフティ・プラス)では愛知万博の旅行商品をはじめ京都や奈良など歴史や文化に触れる魅力ある専用ツアーをご紹介しております。

入会のお問い合わせはJR東海「50+」事務局へどうぞ。

TEL.03-5159-1050 (10:00~18:30 年末年始を除き年中無休)



愛・地球博
EXPO 2005 AICHI JAPAN

JR 東海

従然なるま、綴つた八十四年の物語

高井支部

蓑輪 茂（八十四歳）

吾もまた呱呱の声あぐ陶村に窯業つげよの天の声かも。茂く松ごと榮えよと名付けし父母の期待はわれに。幼年期父は子連れで窯通い今もきこえる父の唄声。リボンつけ桜ちらほら一年生玄関のなか羽ばたくかまえ。参観日時計のよみ方のみこめずこわごわあげた手は伸びず。三人でそろつて通つたおかめ石三人共に皆勤賞うく。えらい中、進学させてくれた父背中で教えたわが進路。面接で少年の夢今こそとズバリ答えた機関士ですと。SLの雄姿と魅力にとりつかれ中退受験を決意せり。少年の就職戦線最難関合格通知は父母をも泣かす。機関士科倍率半超す難関突破官費入学父母安堵。宿望の機関士はたちで拝命し現役出征未練残らず。よせがきの日の丸の名を拾いよむ出撃前の暫しの間でも。うめき声ずりより抱けど既に切れ出血浴びて片手で合掌。敗けた日も汽車は止まらず走つたと聞いた船上暫し呆然。国敗れ還りし故国の焼野にも春はきませり桜は咲けり。五年余のいくさに絶えしこの命再び握つたハンドルにかけ。出雲よりむしのしらせでみちずれに相性大吉九紫のひとを。マークと名付でか、わりしタクシ一二社の栄えてうれし。吾子のくついくさの図のう再びお役駆ける姿に幸多かれど。別院の絵伝の淨書をば依頼の榮に老いは応えり。郷土館陳列棚の説明板文筆脈々後世のため。飛驒の旅風流駅長興を添え朝日の記事にうれしはすかし。行軍だこ今なお続き痛みあり切りすて延べて千耗を超ゆ。じいばあで孫の両手をつりあげて駅の階上がりし

読者のひろば

日も遠くなり。絵馬市の字かき続けし二十余年観音力のご利益祈りつ。特別功労章うけて浴せり視えつの榮励みし道の有難きかな。鉄道に生きよといつてくれた父生きていたればいかに嬉しむ。

人の世に使命果たしたSLの去りゆく年に去る吾もまた、藤棚をかかりて苦節四十年紫匂う花房千に満つ。ポリープとり心身共に爽やかに充ちて生きたし喜寿のよき年。再びの吾に授かる天職と公務につける委嘱状うく。石柱に筆跡残し道案内正雲寺坂の安全祈りて。執念で見つけた猿の姿石庚申生まれの探石行。結婚の記念写真はなかりしも二人揃つて金婚の朝。大自然悠久の作夢幻の姿古木の根株龜と狛犬。眼をとじて瞼にうかぶ難行軍雨降りの日の湯舟の吾は。流木に龍の姿や妻のえと厄の払いに玄関におく。人生を捨いし石が教えけり波にもまれし幾年の詩。庭隅も老いし二人の野菜畠孫等遊びしかの日は遠く。

健康は自助に加える道ありき人間ドック続けし力。朝食に三十余年の医食同源八十路半ばも薬はいらす。初詣ひきたるおみくじ大吉を信じて生きる平成きのえざる。登るほど妙味津々八十路の峰好奇心こそ生きがいを生む。

南の方を望むと、三島、函南の街道や遠く沼津までが視野に入つてきて鳥瞰図を眺めているようです。山の美しい稜線が連なつて神秘的な曲線を描いております。右の方から香貫山、横山、徳倉山、鷺頭山、大平山と、お互いに手を繋いで見守つてくれているようです。最高峰の鷺頭山で標高三九二メートルと言つた里山の素晴らしい展望です。

この故郷の自然に恵まれた風景を眺めていると、街や山々の一つ一つに幼き頃の思い出や、青年時代のロマンが今でも宿つていて、その息吹きまでもが、幻影となつて偲ばれます。

私は第二次大戦に中国に送られ負傷しました。力も尽きて放心状態を草原に横たえていたことです。死臭を感じたのか一匹のトンボが膝の上に止まりました。その時私は「トンボは自由が有つていな、今度生まれてくる時はトンボになりたい」と嘆きました。又、人は死を迎えた時、布団の上で死ねることの幸せを思い知らされました。覚悟をして戦場に送られたとは言え、親、兄弟の面影が浮かんできて望郷の念に涙がとまりませんでした。

春が来ると、鶯は自慢の声で「春が来たよ」と盛んに友を呼んでいます。啄木鳥は打楽を打つよう演奏して林霏に響いて癒してくれます。渡り鳥であるジヨウビタキは何時やつて来たのか、杭の先に止まつて小刻みに体を動かして私を見つめて対話を楽しんでいるようでもあります。

名も知らぬ、見たこともない一輪の花が、誰にも褒めてもらえず、隠れるように咲いている姿を発見したときは、底しれない美しさに限りない感動を覚えます。

春が来ると、鶯は自慢の声で「春が来たよ」と盛んに友を呼んでいます。啄木鳥は打楽を打つよう演奏して林霏に響いて癒してくれます。渡り鳥であるジヨウビタキは何時やつて来たのか、杭の先に止まつて小刻みに体を動かして私を見つめて対話を楽しんでいるようでもあります。

そこは、くぬぎや、ぶなの木々に囲まれた人里離れた凧でした。開墾に精を出して畠を造り、桜、

老いを生きる

長泉支部

杉山安秀（八十一才）

三十五年ほど昔のことになりますが、箱根山の西麓に約八十坪の山林を手に入れました。目的は、退職後の老いを考えることでした。

そこは、くぬぎや、ぶなの木々に囲まれた人里離れた凧でした。開墾に精を出して畠を造り、桜、

あれから六十年の歳月が経ちました。現在戦争のない平和な時代を迎えております。夢の又夢であつた故郷に還ることが出来て、自由と平和の日々を送つてゐる現在が如何に幸せかを噛みしめております。老いを生きる。ということは一言で申せば人との触れ合い。と言うことかも知れません。加齢と共に気になつてくることは、認知障害や寝たきりという問題です。OB会では触れ合いを通して懇親の場を設けて活動しております。情報や知識を広め脳の活性化にもなつて生き甲斐につうじるものと思います。「老いたれば、今を生きよ」と仏は教えておりましたが、凡老は、逝く川の翳がチラついていてそのように割り切れません。落日の姿を眺めているようであ愁の日々でもあります。

短歌

走り去る二輪電車が裾野ゆく

手術終え我れの顔にはほのかなる

笑みを浮びて妻なみだぐむ

沼津支部 山田寿男

越前の紅蓮の夕日沈む海

耀ふ波頭に闇の迫る

年ごとに思い入れ強よくなりゆきて

夜半に目覚め影絵の走る

四日市支部 小川 勇

腰曲れど足取り軽き老婦人

五人と廻る万博会場
近隣の人々に言われし丈夫だね

喜寿を過ぎれば弱くなるのか

紋白蝶遊ぶ畑に吾も舞う

茨隱元の垂れ実摘みつつ

浜松支部

原 哲

耕作の歎跡直ぐに整いて

玉蜀黍に明日の夢見る

静岡支部 勝又範夫

小手毬をゆらして風の見ゆるかに
スリッパを替える事より五月来る

春潮やボートひしめく船溜

道草の一年生や風薰る

蟹あそぶ古き運河の雨あがり

召されたる遠き日妻に語らいつ
黄砂飛びくる空を見つむる

すぎゆきし月日の流れ九十年

滋賀県支部 谷川虎太郎

浜松東支部

大倉照二

五月晴会発足を喜びて
満開を待つ人ありて牡丹かな

音もなく庭石ぬらす五月雨

春日井支部 秋田漾子

朝刊の届きし音や寒き朝
夫婦には広すぎる家年の暮

一枚を残すのみなるカレンダー

沼津支部 山田寿男

雛納め男雛女雛を寄り添えて

落椿失語のまゝに逝きし姉

山茶花の庭染めあげて散り尽くす

日記帳カルテのように字句並ぶ

嘘云わぬ鏡に本音そつと告げ

余生にはまだ頼らぬ夢がある

謙遜が過ぎてチャンスを取り逃す

ハイテクのボタンを探す太い指

マンネリを若い力が窓を開け

子の悩み家族の絆が解く笑顔

割勘が腹にあるのか皿の数

黒子から主役巧みな妻の芸

弁解の数で計かつた男の體

寸秒の差に運命を悟らされ

運命と悟れば涙ない別れ

美濃太田支部 小川 勇

人影の鉄路見廻る寒の月

岩壁へ映す影絵や冬鶴

睡蓮や光と影のモネの池

万博にはや住みついて雀の子

万博の垣の外なる犬ふぐり

万博にゴンドラがあり陽炎へり

津支部

濱口小波

大府支部 和智 洋

岐阜工事局支部

弓柄英二

渡辺定善

富士宮支部 山田寿男

春日井支部 秋田漾子

浜松東支部

大倉照二

川柳

凛として茶室に一枝お茶の花

ものの芽の一気に吹出す春の雨

どつと混みさつと閑なる花の駅

名古屋臨港支部 伊藤鈴登

寒の空一すじ西へ飛行雲

木枯しや妻の出番は鍋料理

山茶花のこぼれる庭や寒雀

四日市支部 中村宮子

人影の鉄路見廻る寒の月

岩壁へ映す影絵や冬鶴

睡蓮や光と影のモネの池

万博にはや住みついて雀の子

万博の垣の外なる犬ふぐり

万博にゴンドラがあり陽炎へり

寸秒の差に運命を悟らされ

運命と悟れば涙ない別れ

美濃太田支部 小川 勇

藤井芳雄



紀勢本線
きいながしま

紀伊長島駅

●開業／昭和5年4月29日
所在地／三重県北牟婁郡紀伊長島町



梅雨の合間に夏を想う。まぶしい陽射しや祭りの賑わいが待ち遠しい。ここ紀伊長島の夏の風物詩といえば、毎年7月下旬に行われる燈籠祭だ。漁業の町で行われる燈籠祭は別名「海のねぶた」とも呼ばれる海の祭。古の神々や精霊をモチーフにした巨大な燈籠と花火が、今年も夏の夜を幻想的に染め上げることだろう。

この町を訪れる数多くの旅行者達のお目当ては、世界遺産にも登録された「紀伊山地の靈場と参詣道」、いわゆると知れた熊野古道・伊勢路だ。

「さわやかウォーキング」熊野古道常設コースにも紹介されるツヅラト峠は約9km・3時間半の行程。梅ヶ谷駅から紀伊長島駅を目指すのが一般的だ。標高357mの頂上は伊勢と紀州の国境であり、稜線の彼方に広大な熊野灘を眺めることができる。火照った身体に海からの風が心地よい。

ここから先の下り道は、九十九折(つづらおれ)名が示すとおり、細く曲がりくねった急坂が幾重にも連なる。四半世紀ほど前までは物資輸送を担う生活道だったというが、往時の苦労がしげばれる。ゴールの紀伊長島駅近くには、夏の出番を控えた燈籠の製作や歴代燈籠が見学できる「ふれあい広場マンドロ」があり、年に1度の祭に昂ぶる町の息吹を感じることができるだろう。



金谷支部 坂部庸夫

支部及び会員からの寄稿
1 「支部だより」
支部総会、增收協力旅行、清掃美化活動、事故防止運動、会員交流会等支部からの「たより」を随時受付いたします。テーマ、内容等は自由ですが、四百字以内にまとめ、執筆者氏名を明記して下さい。なお、活動の状況がわかる写真がある場合は一枚添えて下さい。

2 「読者のひろば」
会員から「情報、体験談等」の寄稿を随时受付ています。テーマ、内容等は自由ですが、千二百字以内、挿絵、写真等の掲載希望はいずれか一枚以内とし、所属する支部、氏名、及び住所、電話番号を明記して下さい。

3 「短歌、俳句及び川柳」
会員から「短歌、俳句及び川柳」の募集をしています。

応募は、会報発行毎に、一名種別ごとに官製葉書一枚に、短歌は二首、俳句は三句、川柳は二句以内に限ります。記入の際には、冠部に「短歌」「俳句」と朱書きして下さい。

〒450-1000
名古屋市中村区名駅 三一十三一十二
キヨスク名駅ビル内

東海鉄道OB会・会報編集係宛

〔注〕・寄稿または投稿された作品等は、順次会報に掲載いたしますが、応募状況や誌面の都合等により、掲載が遅れる場合があります。

・なお、寄稿または投稿された原稿は返却いたしません。

「会報への寄稿、文芸欄への投稿」要領



応募葉書には、応募年月日、所属す

る支部、氏名(フリガナを付し、本名を記入する)、及び住所、電話番号を明記して下さい。

4 「表紙写真」
会報誌(十月号)の表紙に使用する写真を募集いたします。会報誌発行時に合ったものとします。カラーレターブル五サイズ以上一枚。ポジフィルム、デジカメデータ(解像度A4サイズで三〇〇dpi以上)送付別紙に所属支部、氏名、住所、電話番号を記入し添えて下さい。

なお、複数ご応募いただいた場合には会報誌編集委員会にて採用選考させていただきます。
また、お送りいただきましたもののうち、ポジフィルム、デジカメデータ記録媒体についても、後日お返しいたします。

1 会報誌表紙の写真を募集し、次号(十一月号)から掲載していくことと考えています。

2 支部のOB会運動がOB会活動の原点であることを再認識し、さらなる活性化を図ることを目的として、地方本部から推薦していただいた支部に「わが支部の運動方針と実施状況」と題して投稿をお願いしますので、各支部では活動の参考にしていただければと考えております。

3 会報誌編集にあたってのご意見・ご要望等がございましたらぜひお寄せいただきますようお願いいたします。

(杉浦)

編集後記

今後の会報編集方針と投稿等の依頼

東海鉄道OB会報創刊号にて、今後の会報編集方針を記載し、支部及び会員の皆様に投稿をお願いしたところ、大変多くの投稿をいただき感謝しております。

おかげさまで、本誌では支部の活動な活動状況をご報告でき、また、体験談・俳句・川柳などについてもご紹介することができます。

今後につきましては、より多くの会員皆様に会報誌に参加していただき「会員で作る会報」として一層充実したものにしていきたいと考えています。

そのため、創刊号にお願いしたこと附加えて、次のことについて皆様のご協力ををお願いいたします。

1 会報誌表紙の写真を募集し、次号(十一月号)から掲載していくことと考えています。

2 支部のOB会運動がOB会活動の原点であることを再認識し、さらなる活性化を図ることを目的として、地方本部から推薦していただいた支部に「わが

支部の運動方針と実施状況」と題して投稿をお願いしますので、各支部では活動の参考にしていただければと考えております。

3 会報誌編集にあたってのご意見・ご要

望等がございましたらぜひお寄せいただきますようお願いいたします。

(杉浦)

発行 〒450-1000
名古屋市中村区名駅 三一十三一十二
キヨスク名駅ビル内 東海鉄道OB会本部
発行人 杉浦 定行
電話 〇五二一五六二一六〇八〇(FAX兼用)